

2023年9月7日号

中小でも世界基準のDXを

セゲル 会員制Webサービス

物流システムの販
売を手掛けるセゲル
(朴用哲(パクヨン
ソク)社長、福岡市
東区)は2日、物流
事業者が2024年
問題を解決するため
の会員制Webサー
ビス「allhaiso
(オールハイ
ソー)」をリリース
した。

今回、販売を開始し
た会員制のWeb
サービス「allh
aiso(オールハ
イソー)」だ。

朴社長によると、
これまで、世界の太
手メーカーや物流企
業が採用し、世界で
20万台のトラックが
毎日、同システムで
効率的に動いている
という。

ただ、同システム
の導入にはそれなり
の費用がかかるのも
事実で、資本力のあ
る大手企業でない
という課題もあった。
そのため、同社で
は、運送事業者の大
半を中小事業者が占
める日本において、
中小事業者でも世界
基準のDXソリューションを、
安価で手軽
に導入でき
る仕組みを
考えていた
という。

同社は、世界最高
峰のテクノロジーと
評価されているアメ
リカの物流管理シス
テムである「オムニ
トラックス社(米
国)」と、トラック
の動態管理システム
である「デカルト社
(グリーンマイル)
(米国)」のシステ
ムを、

中心に物流業務を可
視化することで、徹
底した配送の効率化
により、輸送経費
の削減を約束する
としている。配送コ
ストの削減はCO2削
減にもつながり、環
境問題にも貢献が可
能。

一方、配送会社向
けには、同サービス
を活用することで定
期・ルート配送の新
規獲得の機会が増
え、スポット配送・
緊急配送、混載便配
送、特殊車両配送な
どの配送マッチング
で自社トラックの
効率的な運用が図れ
る。

さらに、同サー
ビスでは荷主と直接
取引ができるため、
中間マージンがかか
らず運賃収入の向上
も見込めるとしてい
る。

2024年問題
は、自社内業務の効
率化のみならず、荷
主と配送会社がお互
いの立場を理解しあ
る。

2024年問題
は、自社内業務の効
率化のみならず、荷
主と配送会社がお互
いの立場を理解しあ
る。

い、ウインウインの
関係構築していく
ことが求められる。
朴社長は、「all
haiso(オール
ハイソー)」は、2
024年問題を乗り
切り、物流業界で選
ばれた企業として存
続するための基盤を
提供することをお約
束する」と話してい
(高田直樹)



朴社長

それが、

効率的な運用が図れ

allhaiso
オールハイソー

荷主様と配送パートナー様の
マッチングサービス

<https://www.allhaiso.com/>



allhaiso「オールハイソー」とは

allhaiso「オールハイソー」とは、「オール(全て)ハイソー(配送)」という意味で
すべての物を配送可能にすることを目指し、物流業界のSDGs「グリーン物流」でCO2削減を
実現することで、環境にやさしい未来に牽引するのがallhaiso「オールハイソー」の使命であり、

日本全国の荷主様と配送パートナー様の業務改善を実現するために考え抜かれた
「荷主」と「配送パートナー」と「環境」をつなぐ物流DXワンストップサービスです。